

[課題図書及び活動] ※3 期生対象

担当教員	新 茂之	所属	文学部哲学科
テーマ	レポートの型を学ぶ		
活動期間	<p>【前半セッション】 2021年4月10日（土）～2021年5月末（予定） 2021年5月末（予定）：中間報告会</p> <p>【後半セッション】 2021年2月～2021年3月 2021年3月（予定）：成果報告会</p>		
活動のねらい	<p>□活動のねらい</p> <p>わたくしたちの知識の源泉は、現代であっても、文字である。わたくしたちは、インターネットを通じて、いろいろな情報を取得している。確かに、そこには、画像とか動画とかといった視覚的な情報がある。音声もある。しかしながら、多くの場合、わたくしたちは、文字によって情報を理解している。そのなかでも、安定した情報を提供してくれているのは、書物である。書物は、いろいろなひとの目と手が入ってようやく完成する。しっかりとした知の探究は、そのような書物を読むこと、すなわち、読書から始まるのである。</p> <p>本セッションでは、みずからの興味と関心に基づいて本を選び、その読解を通じて、みずからの考えをレポートにまとめてみたい。本セッションの教科書として、課題図書である『「型」を学ぼうーレポートの作成ー』（以下、「教科書」という）を用いる。これは、演習の形式を採用しており、それが指示する作業に一つ一つ取りくんでいけば、一定の分量のレポートを作成できる。各自で作業を進めていけるように、教科書を編成している。</p> <p>本セッションを、前半セッションと後半セッションの二つに分けて、展開する。</p> <p>まず、前半セッションで、塾生は、レポートの主題をみずから選ばなければならない。そのために、教科書が指示する作業を通じて、みずからの興味に従って1冊の新書を選び、そのなかから、レポートの主題を決める。そのうえで、幅の広い知識を獲得するために、レポートの主題に関連した本を新たに2冊選ぶ。それらをもとにして、教科書の作業を積みあげていきながら、レポートの内容を充実させていく。前半セッションのねらいは、序論、本論、結論の3部構成でレポートを編成するところにある。教科書の示す作業を順番にこなしていけば、そのレポートは自動的にしあがる。</p> <p>後半セッションでは、前半セッションで作った3部構成のレポートを4部構成に編みなおす。前半セッションで使用した教科書を引きつづき使用する。後半セッションのねらいは、起承転結という文章の構成を学び、前半セッションで作成したレポートのもとに、4部構成のレポートを作りあげていくところにある。その意味で、後半セッションでは、レポートの素材は、すでに手もとにある。後半セッションの作業を通じて、その内容を膨らませていく。新たな資料を追加して、前半セッションのレポートを起承転結という鑄型に流しこんでいく。</p>		

□活動の流れ

(1) 塾生は、レポートの主題を決めるための新書1冊を各自で選び、選んだ書誌情報(書名・著者・出版社・ISBNコード)を3月19日(金)までにメールにて新島塾事務局アカウント(ji-njyuk@mail.doshisha.ac.jp)に連絡する。新島塾が選んだ新書を購入し、3月26日の入塾式後に配付する。新書を選ぶにあたって、①なによりもまず、みずからの興味と関心を明らかにしなければならない。②そのうえで、みずからの興味と関心に基づいて、新書を選択する。出版社に指定はない。③インターネットをおおいに活用して、新書の内容を調査する。しかしながら、この探索を厳密に遂行する必要はない。④選定した新書が予想と異なる内容であったとしても、のちに2冊の新書を新たに探すことになるので、気にしなくてもよい。担当者と相談しながら、レポートの作成を進めていく。⑤重要であるのは、みずからの興味と関心である。考えたいこと、疑問に思っていること、問題に感じていること、みずからの興味と関心を文章にしていく。⑥完成させるレポートの分量は、1600字程度あるいは2000字程度であるので、それほど多くはない。それゆえ、ある程度まで、みずからの興味と関心を絞りこまなければならない。

(2) 前半セッションをスタートするにあたり、2021年4月10日(土)3講時と4講時に、前半セッションのオリエンテーションも兼ねた授業を2講時分、今出川キャンパスで実施する。そのなかで、塾生は、前半セッションの活動の内容と取りくみかたを学ぶ。

(3) 4月10日の授業を受けてからは、塾生は、各自で、教科書を読みながら、教科書の指定する課題を順番に遂行していく。担当者の指示に従って、その課題を電子媒体にてメールで担当者に提出する。担当者は、それを添削し、その結果を電子媒体にてメールで返却する。塾生は、添削の内容の理解に努め、担当者の指示に従って、つぎの課題に移行する。随時、メールにて質問を受けつける。

(4) こうしたメールのやりとりを通じて、塾生は、完成させたレポートを2021年5月下旬ごろ(※)に電子媒体にて担当者に提出する。その内容を、今出川キャンパスあるいはオンラインにて実施する中間報告会(※)のなかで発表する。

(5) 後半セッションをスタートするにあたり、2022年2月上旬(※)に、後半セッションのオリエンテーションも兼ねた授業を2講時分、今出川キャンパスで実施する。そのなかで、塾生は、後半セッションの活動の内容と取りくみかたを学ぶ。

(6) 2月の授業を受けてからは、前半セッションと同じように、塾生は、各自で、教科書を読みながら、教科書の指定する課題を順番に遂行していく。担当者の指示に従って、その課題を電子媒体にてメールで担当者に提出する。担当者は、それを添削し、その結果を電子媒体にてメールで返却する。塾生は、添削の内容の理解に努め、担当者の指示に従って、つぎの課題に移行する。随時、メールにて質問を受けつける。

	<p>(7) こうしたやりとりを通じて、塾生は、完成させたレポートを2022年3月下旬ごろ(※)に電子媒体にて担当者に提出する。その内容を、今出川キャンパスあるいはオンラインにて実施する成果報告会(※)のなかで発表する。</p> <p>(※) 各種の詳細日程は、後日、担当者ないし事務局より連絡する。</p>
課題図書	『「型」を学ぼう ―レポートの作成―』
図書情報	新茂之・吉川杉生著、みらい、2019年、ISBN-13 : 978-4860154622